

### Ⅲ. 胎児心拍数陣痛図について（総括）

#### ～脳性麻痺発症の主たる原因が母体の呼吸・循環不全による子宮胎盤循環不全とされている事例の胎児心拍数陣痛図の紹介～

2018年9月末までに原因分析報告書を見・保護者および分娩機関に送付した事例2,113件の中には、胎児心拍数異常の背景に母体の急激な呼吸・循環状態の変化があったと考えられる事例があった。臨床においては、母体の呼吸・循環状態の変化が原因で胎児心拍数異常が生じた事例に遭遇することは稀であると考えられる。しかし、このような事例では胎児・母体とも重篤な結果となる場合もあるため、胎児心拍数異常の原因が母体の急激な呼吸・循環状態の変化と考えられる事例の胎児心拍数陣痛図について共有し、原因検索の際の鑑別診断として母体の全身状態の変化を考えることは産科医療の質の向上に向けて重要であることから、以下4件の胎児心拍数陣痛図を再発防止委員会からの解説を加えて紹介する。

事例1：分娩経過中に強い下腹部痛と不穏状態を認め、同時に胎児徐脈となった事例（P.50～53）

事例2：子宮口全開大後に胎児徐脈と母体の意識障害を認めた事例（P.54～55）

事例3：分娩経過中トイレで排尿後に破水し気分不快を訴え、胎児徐脈を認めた事例（P.56～59）

事例4：体温40℃台の母体発熱と持続する腹痛のため入院し、胎児心拍数200拍/分以上の頻脈を認めた事例（P.60～63）